

教育センターだより



「親の願いと子供の思い」から考える保護者対応

南砺市教育センター 所長 高川 芳昭

年度替わりにより、教育センターのメンバーに変更がありましたが、今年度も研修事業をはじめ、その他の事業を推進していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、以前勤務していた学校のある校長先生から、図書館に本を借りに来た年長くらいの子供と母親との会話が、気になって仕方がなかったと伺いました。会話の内容は次の通りです。

母親：「また、それけ？いつも同じような本やないけ。」

子供：「これ、おもしろいもん。」

母親：「あと、まだ何か借りるがけ？はようしられま。」（男児はもう一冊、別の本を選んでる）

母親：「この袋の中に入る大きさの本でなけんにやだめやよ。」

母親：「はようしられま。」……

「母親は、本は読め、いろんなジャンルの本を読め、早く選定せよと、まくし立てる。挙句の果てには、本を入れる袋に合った大きさまで求める。これでは、この子は本を通してお話の世界に浸る楽しさを味わえないのではないか。この子の情緒が豊かに育つとは思えなかった。傍らで聞いていてなんだかわびしい思いがした。」と、校長先生は話しておられました。

この話を聞いて、十数年前、私の娘が小学1年生の時、持久走大会を終えた夕方に電話をかけてきてくれたことを思い出しました。

当時、私は3か月間の県外研修に出かけていたので、娘と話をする機会がほとんどありませんでした。下校をし、家に着くころの時間に、自分から電話をかけてくるのだからきっとよい報告だろうと思いました。

「練習の時より順位がよくなり、2位になったこと」「途中で苦しくなったけど、走り切ったこと」をとてもうれしそうに語ってくれました。それを聞いて私は、「1位は誰やった？」「1位と何秒差やったが？」とたずね、「残念やったね。もうちょっとで1位やったね。来年はがんばられ。」と言いかけそうになりました。しかし、次の研修が間もなく始まりそうだったので、娘の話聞くだけ聞き、「そう、よかったね。電話をかけてくれてありがとう。」と簡単に応対し、電話を切りました。今になってみれば、十分に話す時間がなかったおかげで、娘にいらぬことを言わなくてよかったなと思っています。なぜなら、親の願いは「もっとがんばれ、1位を目指せ」であり、娘の思いは「がんばって2位になったことをしばらく会っていない父親にいち早く知らせたい」「自分のがんばりを伝え、認めてもらいたい」であったと考えるからです。もしかしたら「私はがんばっているから、お父さんも研修がんばってね」という思いもあったかもしれません。

このことは、保護者への対応においても同様だと思います。「なぜそのタイミングで連絡されたのか」「なぜ連絡帳ではなく、電話なのか」「何を担任に伝えたいのか」など、その背景にある保護者の事情や心情を把握して接することが大切ではないでしょうか。そして、先入観で相手を判断したり勝手に決め付けた対応をしたりするのではなく、電話で保護者の口調を確認したり、場合によっては家庭訪問して顔を合わせたりして、保護者の思いや考えを真摯に受け止めることが大事であると考えます。

●スタッフ紹介

市教育センター

- | | | |
|---|---------|-------|
| ◇ | 所長 | 高川芳昭 |
| ◇ | 指導主事 | 今井百合恵 |
| ◇ | 技術員 | 高田美由紀 |
| ◇ | SSW兼特支コ | 島田博英 |
| ◇ | SSW | 吉田美司子 |
| ◇ | 特支コ | 岡崎優子 |
| ◇ | ITCE | 林秀次 |

※ SSW：スクールソーシャルワーカー
特支コ：特別支援教育コーディネーター



近くにお越しの際には、お気軽にお立ち寄りください

南砺市教育支援センター「いおう教室」

- 場 所 : 福光青少年センター 3階
南砺市福光1137-2
- 電話・FAX : 0763-52-5593
- 対 象 : 南砺市内の小・中学生
- 教室開室 : 月～金曜日 午前9時～午後3時
- 主な活動 : 学習、運動(卓球等)、読書
パソコン、制作活動、調理
ボードゲーム等みんなで言う活動
もあります。

いつでも見学に来てくださいね



◇ 指 導 員
松 村 朝 美 中 山 登
大 浦 香 代 清 玄 寺 真 佐 子
西 村 美 勝

●今年度の事業について



(1) 調査研究事業

| 事業名 | 委員長 | 委員 | 回数 | 期間 | 内 容 |
|---------|---------------------|-----|----|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| 小学校理科資料 | 澤田 雅恵 (南砺つばき 教頭) | 5名 | 2回 | 6～9月 | ・小学校理科資料「流れる水のはたらき」 改訂、印刷 3年分1,110冊 |
| 体力づくり | 川口 雅也 (福野中 教頭) | 10名 | 2回 | 6～12月 | ・体力づくり推進対策について、中学校校区での課題 に対する取組を確認する ※体力調査報告書(事例集)はセンターで作成する |
| ICT推進 | 藤田 稔 (利賀中 教頭) | 17名 | 3回 | 6～2月 | ・ICTを活用した授業実践 ・ICT活用の成果と課題 ・プログラミング学習研修会A・Bの補助 (全4回、各回1～2名程度の補助) |

(2) これからの研修事業 ※ 詳細は各研修会の要項等でお知らせいたします。

| 研 修 会 名 | 月日や期間 | 会 場 | 講 師 |
|------------------------------------------------|---------------------|-------------------|-------------------------------------------------|
| 【総教セ連携事業】 理科教育講座(自然観察)入門コース スタディ・メイト等研修会 | 6月6日(火) | 南砺市内 | 富山県総合教育センター 科学情報部 |
| 学校図書館研修会 | 6月20日(火) | 南砺市地域包括ケア センター | 富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 石津 憲一郎 先生 |
| 【協業研修】 資質能力向上研修会 | 7月31日(月) | 南砺市地域包括ケア センター | 國學院大學 教授 杉田 洋 先生 |
| プログラミング学習研修会A 【5年算数科担当者悉皆:1回】 | 8月1日(火) | 南砺市立福野小学校 | 南砺市教育センター ITCE 林 秀次 先生 |
| プログラミング学習研修会B 【6年理科担当者悉皆:1回】 | 8月3日(木) 8月22日(火) | 南砺市立福光東部小学校 | 南砺市教育センター ITCE 林 秀次 先生 |
| 【準協業研修】 ICT研修会 | 8月2日(水) | 小矢部市民交流プラザ | 新潟市立大野小学校 校長 片山 敏郎 先生 |
| 【協業研修】 特別支援教育研修会 | 8月4日(金) | 小矢部市民交流プラザ | 北陸大学 教授 河野 俊寛 先生 |
| 南砺市教育講演会【悉皆】 | 8月9日(水) | 井波総合文化センター | ナラティブ・コミュニケーション教育研究所所長 別府大学 客員教授 佐藤 敬子 先生 |
| 【協業研修】 特別支援教育研修会 | 8月18日(金) | 砺波市立砺波東部小学校 | 打楽器奏者・指導者 平永 里恵 先生 |
| 授業力向上研修会 (ステップアップ研修) | 6～2月 | 市内小・中・義務教育 学校 | 南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生 |

※ 砺波市・小矢部市主催の協業・準協業研修会にも参加できます。(詳細は後日、お知らせします。)
※ 9月以降の研修については、次号でお知らせします。

ご活用ください

教育センターが行うサービス(一部)



拡大教材等の作成

教科書や副読本、資料等の拡大印刷（A1・A2判）、垂れ幕・横断幕作成等ができます。（パワーポイントで作成したデータを、共有サーバー上にご準備ください。）

【10 教セ>90 庶務>拡大印刷依頼】

教科書・図書資料の貸し出し

教育センターには教科書が揃っています。現在採用されているものはもちろん、それ以外の教科書も準備しています。また、特別支援教育や特別活動に関する図書資料、コグトレーニング等の資料の貸出も行っていきます。どうぞご利用ください。

スクールバスの活用

校外学習の際に、スクールバスの使用が可能です。ただし、各小学校の下校時間に支障がないように計画してください。（時間については高田まで相談してください）

また、出発の**2週間前まで**には利用申請書の提出をお願いします。



教育センター

視聴覚教材・備品等の貸し出し

プロジェクターの貸し出しを行っています。利用を希望される場合は、早めに電話で問合せをいただき、事前予約をお願いします。

校外学習の際にはAEDもご活用ください。



●これまでの研修より

※ 各研修会の様子をHPに随時アップしていきます。

市教育センター 準協業研修 学級づくり研修会

- 日時 令和5年4月12日（水） 15:30～16:30
- 会場 南砺市立福野小学校
- 講師 南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 参加者 94名 砺波地区保・認・幼・小・中・義務教育学校教職員
- 内容 「聴き合える」集団づくり
 - ・信頼される先生の3つの条件…①自分のことを分かってくれる、②みんな同じように対応してくれる、③自分たちを導いてくれる。
 - ・聞き手を育てると話し手も育つ…話し手は何を伝えたいのか、内面に入って聴けるしかけをする。友達をまるごと受け止め、助け合って解決しようとする子供を育てる。
 - ・「主体的な子供」を育てる…教師が子供一人一人の存在を認め、まず、心もちを受け止める。



<参加者の感想より>

- ・教師のねらいや進めたい方向にもっていこうとするのではなく、子供の考えや存在をしっかりと認めることが大切だと分かりました。教師の手立てや仕掛けによって子供の学びや反応をよりよいものにできるのだと実感しました。
- ・子供の発言をしっかりと受け止めたい、認めたいと思いながらも、正解を言う子供の発言だけで授業を進めることが多々ありました。これからは子供の内面を考えて寄り添いながら授業をしたいと思いました。
- ・授業も大切だけど、学級づくりが大切だと思いました。聞ける子供、話せる子供の集団づくりに努めたいと思いました。聞き合うためのテクニックを見ることができたので、ぜひ、明日から取り入れていきたいです。

市教育センター研修 通級指導教室担当者等研修会

- 日 時 令和5年4月19日(水) 14:30~16:30
- 会 場 南砺市役所 大ホール
- 講 師 発達支援専門員 礪波 留美子 先生
- 参加者 13名 砺波地区内小・中・義務教育学校通級指導教室担当者



- 内 容 一人一人に応じた通級指導のあり方
 - ・通級の対象となる子供たちについて
 - ・漢字の苦手な子供への誤り分析(演習も含む)とその対応について(同じ音の漢字の誤り、意味の似ている漢字の誤り、形の誤り等)
 - ・算数の苦手な子供への誤り分析とその対応について(処理能力、視覚・聴覚認知、数概念形成、言語発達、ワーキングメモリ機能、プランニング、集中力)
 - ・英語が苦手な子供への指導

<参加者の感想より>

- ・今日のお話の事例や指導方法、考え方は今すぐ子供たちにやってあげたいと思えるものばかりでした。一人一人の子供理解に努め、できる限りの支援をしたいと思いました。
- ・事例や誤り分析が大変参考になりました。実際に誤り分析を行うことで、生徒がどこでつまづくのかよく分かりました。
- ・英語のLDのことはほとんど知られていないのが現状です。ジョリーフォニックスのことを教えてもらい、うれしかったです。

市教育センター研修 小学校英語専科教員研修会

- 日 時 令和5年4月27日(木) 15:00~16:45
- 会 場 南砺市立南砺つばき学舎
- 講 師 小学校英語専科教員 吉野 由香里 先生
- 参加者 6名 市内小学校英語専科教員
- 内 容 英語の授業の在り方と情報交換
 - ・低学年の外国語活動について…有効な教具、使用方法等の紹介
子供の楽しめるYouTubeや大型絵本の活用法
 - ・タイピング指導の進め方について…担任の協力とタブレットの活用
 - ・Small Talkについて…実際の進め方を鑑賞
 - ・Can-Doリストについて…5・6年生の年間指導計画と学習到達目標の確認



<参加者の感想より>

- ・1・2年生の学習にすぐに使うことのできる情報を共有していただけて、とても助かりました。
- ・教育長さんに直接低学年の外国語について聞くことができたので、これからどう進めていくか見通しをもつことができました。
- ・日頃の実践について具体的に情報交換でき、今後の指導に生かせるお土産をたくさんいただけたと思います。ありがとうございました。